

おいでよ!

華扇ちゃん
牧場



18禁
成人向け



全数破壊検査



やあやあ！
あんたがバイト君だね？
いやー助かるよ！男の
人手が足りなくてさー！

「牛乳」の生産が全然
追いつかなくて
誰の手でも借りたかった
トコロなんだよねー！

（じっと）

ニカー！



つなぎのサイズは大丈夫？
まま、じゃあまず
牧場を案内するよ！

実は幻想郷に「牛乳」が
普及し始めたのは
ここ最近である。

おお
これが……

幻想郷は酪農ができるほど
広くない環境であり、
庶民が乳製品を口にする
機会は稀であった。

ちゅい
クム。



そんな中、河童たちが
この幻想郷で「牛乳」の販売を
初めて話題を呼んでいるのである。

え？いきなり酪農を
始めた理由？
んふふ♪よく聞いてくれました♪

今まで幻想郷が狭くて
牛なんて大きな動物飼えなかった
訳なんだけど……じゃあどうすれば
幻想郷で酪農できると思う？

ガ
ラ
ン

牛の方に小さくなって
もらう事にしたんだ!

Holstein!!

エサは山ほど必要：
放牧なんて論外だね。

そもそも牛が巨体だから、
飼育が難しいんだよ!

私達のカじゃ
無理やり土地を借りる事も
できないし、何よりどっからか
クレームが来ておじゃんだろう。

じゃあどうするって
考えた結果…

おおっとお!ここから先は
トップシークレットだかね!

雇用規約にも
書いてあったよね!?
そこんとこオッケー!?

よっしゃ!
じゃあ牛さんを
連れて来るから
ちよっと待っててー!

立

この子は
とってもおとなしいから
きつとすぐ慣れるよ。

ほいほい
こっちこっち…。

カラコロン



じゃあまず乳搾り教えるね。
専用の小屋に牛を誘導して…。

ほーらしい子、
いい子。

んおっ？カラ、
♡

カッカッカッ…



大丈夫、中身は牛だから。
こっちの言葉もやんわりとしか
わかんないよ。



暴れたりした時に
ケガしないようにね。

んもっ。

この子をとっても
おとなしいからまず大丈夫だけど。



それじゃ改めて…
これが我らが農場の乳牛…

かせんちゃんだ！

くわ〜

たまに里にいる
仙人様じゃないかって？
あっ知ってたのか。





そんじゃま...



じゃあまずこの
バケツに乳を搾ってみようか。
この子は良く出るからいっぱい
出ると思うよ。



かせんちゃくくん♪
お乳拝見しますよー？

おっ？

カッ！

よっと♪
今日も調子良さ
そうだねえ♥

ほよん♥



まず乳房全体を
もみほぐしてー…
母乳を巡らせてあげるんだ。

それから乳首も
同じ様にね。





あー…随分と
気に入られたみたいだね
良かったじゃないか。
すっごいコーン♪



んじゃ続けるよ。
バケツをしっかりと狙ってー…
乳首をこんな感じで
掌に収めるの。

あつ、そっちのおっぱいも
バケツに乗せておいて。

んじゃ、よく見ててね…

たっぷっ♡

きゅ♡







じゃあ私、この牛乳
持って行っちゃうから、
アンタは…

かせんちゃんとの
スキンシップをお願い！



んー。結構絞れたね。
初めてにしては上出来だよー。



ジーン…

ほら、あんなに
期待の眼差しで
こっち見てるでしょ！



その為に男の人手が
必要だったんだからさ！
頼むよ！経験ないの？
大丈夫だってどうにかなるって！

!?

ナニするって…
そりゃアンタ…
ゴニョゴニョ…



さっき見た様子だと
気に入られてるみたいだし、
絶対大丈夫だよ！

じゃあ
ごゆっくりー！！
バターバター
プシューー…

「かせんちゃんって
中身はほとんど牛なんだけど
性欲もしっかりとあるみたいで…」



「ホラ、ストレスって
牛乳にも良くなきさそうだし…」

「しかも理性が弱くなったせいか
結構「レ」が辛そうで…
見ててかわいいそうなんだよ。」

「多分、大丈夫だから！」



「だから、かせんちゃん
の好きなようにやらせて
やってくれないかい？」









ここまで積極的に発情する
なんて予想外だ……!

なごし♡
なごし♡

なごし♪
なごし♪

ちゅ♡
ちゅ♡

それ……
それ……

もうっっっっ
おっっっっっ

すごい喜びよう…
こりゃあ
相当溜まってるな



…ここまでとは…!

それにさっき搾ったのに
あの乳の量!



相手がいると
やっぱり生産量が
違うね…!!

こりゃ本格的に
仕込めばもっとすごいのかも…!!

かせん
ちゃん
る〜む♡



じゃあこれから
乳搾りと仕込み
をしようよ。



ああ、今回は
乳搾りは試しに機械
使うから安心してね。

あんたは仕込みに
集中してね♪

詳しい事は
そのメモに書いておいたから、
あっ中入ってから見てね。



しっかりと
仕込んであげてね!
ごゆっくり…!



にとりの伝言…
「さてさてバイト君も慣れて来た頃だし
とても重要な「仕込み」をやつてもらいます。」

「まあなんてこたあない
ちよーとばかし
上級のスキンシップを
やればいい。」

「お前さんとかせんちゃんの
世話をするようになってから
お乳の出がすくく良くなったんだ。」

「そこで、もつと二人が
仲良くなればもつとお乳が
出るんじゃないかと思つてね。」

「かせんちゃんに
しっかりしつぽり
たつぷり…」

お前さんの種を
付けてやつて欲しいんだ。
要は種付けだね♪」

さすがに
少し恥ずかしい。

ふるんっ♡

「最近なんか牛の尻尾まで
生えて来ちゃって、アンタを
ずーっと見てるじゃ。」

♂
♀
♡♡

ハッ
ビッ

もじ
もじ

もじ

「どう見てもアンタの
子供を孕みたがってる
んだよねえ。」



「今までも乳が出たけど、
本当に妊娠すれば、
もっと出そうだろう?」

「もう向「うは
いつでも準備万端みたいだし、

ク
ク
ク

ハッ
ビッ

ハッ
ビッ

ん
っ
♡

人助け…いや
牛助けだと思って
楽しんでくれ♪」



タ
ク
♡

ポ
タ





数時間後…

おい…
生きてるからって
乳くさす!!

あつ!? 搾乳機
抜けちゃったの!?

ちゅぽん♡

オイオイオイ…
どんだけ激しかったんだ
君たち…

まあしっかり
種付けできたようで
何よりなんだが。

生きてんのかわ
アイツ



さーてどんだけ
搾れたかって…重っ!?

えっ満タン!?

この量を一回で…
こりゃあすごい効果だ…

こりゃあ売春宿と農業
両立した方が色々効率が…

うん。味も問題ナシ



……

…ありやああの子を
離しそうにないな。

夫婦として
仲睦まじく営んで
もらいましようかね…

スヤ…

スヤ…



後日にとりの牧場の牛が増えすぎて
牛の食費が経営を圧迫しているという
噂話がささやかれていた…らしい。

お前らポンポン増えるし
どんどん食いすぎでしょ!

めでたよ!
めでたよ!



あとがき

どうもお世話になっております。ぶらっくです。
今年北海道旅行に行きまして、牧場見学をしてきたんですね。
それを体験してなんかぶっ飛んだの描きたいなと思って今回の本になりましたとさ。

当初はにとりの牧場経営を怪しく思った華扇ちゃんが怪しく思って調査してみたら、
なんやかんやあって牛さんとして調教されちゃう…みたいな構想だったんですが、
どうしてもちょっとだけ悲壮感が出ちゃうので、楽しくえっちな作品を愛するワタクシは
今回のようなゆるーい構成にしましたとさ。是非もないよね。

それでは手に取ってくださった皆様、ありがとうございました。感想等ありましたら是非。
またドコかでお会いできれば。



奥付

原作 東方Project/上海アリス幻楽団

発行 全数破壊検査/ぶらっく

発行日 2017/10/15 平成三九年博麗神社秋例大祭

印刷 (株)ポプルス

Mail black.burakku.kurokuro@gmail.com

※18歳未満の閲覧、購入を禁じます。

複製、無断転載、アップロードを禁じます。